

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報

京都府中小企業団体中央会

京都青年中央会 第43回通常総会を開催	1
特集Ⅰ 令和7年度助成事業等の実施希望調査	2~4
特集Ⅱ デジタル化推進事例 樹形事業協同組合	5
京都伝統工芸協議会 若手従事者研修会・交流会を開催	6
京都経済お天気	7
新会員紹介	8
令和6年度労働保険年度更新について	8

京都青年中央会 第43回通常総会を開催

去る5月17日（金）京都青年中央会は第43回通常総会をホテルオークラ京都にて開催、会員青年部17団体32名が出席し、2023年度事業報告・収支決算承認、2024年度の事業計画や収支予算など5議案が原案通り可決決定した。

任期満了によって行われた役員改選では、理事13名と監事1名が選任され、理事会において鳥見本恵一氏（舞鶴水産流通協同組合 青年部 かれぶり会）が会長に、新田祐樹氏（京都左官協同組合 青年部）、新谷晃生氏（京都府石材業協同組合 石青会）が副会長に、山添宏明氏（京都府電気工事工業組合 青年部）が直前会長に就任した。

鳥見本新会長は、「第22期のテーマを“心”と掲げ、これまで歴代より築き上げてきた『絆』を事業を通じ会員青年部の皆さまと交流を一層深め、“心”から繋がるより強固なもので昇華させられるよう、皆様と共に歩んでいきたい。」と決意を述べ、新体制での新たなスタートを切った。

また、総会後には第1回CAPサミット及び懇親会を開催。会員青年部の代表者をはじめ、行政、金融機関、友好団体など50名以上が参加した。第1回CAPサミットでは京都市 松井孝治市長よりご祝辞を賜り、また懇親会では来賓を代表して京都府 鈴木一弥副知事、京都市 野口穂高地域企業イノベーション推進室長、京都府中小企業団体中央会 宮本研二副会長から御祝辞を賜り、鳥見本新会長への期待と激励のお言葉をいただいた。

第22期役員一覧

- <会長> 鳥見本恵一（舞鶴水産流通協同組合 青年部 かれぶり会）
- <副会長> 新田 祐樹（京都左官協同組合 青年部）
新谷 晃生（京都府石材業協同組合 石青会）
- <理事> 山田 高広（京都府電気工事工業協同組合 青年部Decks）
小林 汰功（京都府印刷工業組合 京都青年印刷人 月曜会）
細井 貴夫（協同組合カイロプラクティック新京都 青年部）
西田 篤史（京都土木協会 青年部会）
森 孝文（京都府環境整備事業協同組合 青年部）
神村 圭（協同組合京都府金属プレス工業会 次世代経営研究クラブ（FMC））
芦田 将司（京都府造園協同組合 青年部）
瀧淵 充（京都府旅館ホテル生活衛生同業組合 青年部会）
小西 実（京人形商工業協同組合 青年会）
櫻井 信隆（丹後機械工業協同組合 青年部）
- <直前会長> 山添 宏明（京都府電気工事工業組合 青年部）
- <監事> 河津 鉄也（Colors）



鳥見本新会長 所信表明



総会懇親会



退任される第21期役員

きずつくよ 君の一言 ぼくの一言 考えよう 言葉の重さ

京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

令和7年度 助成事業等の実施希望調査

京都府中央会の助成事業は、京都府・京都市・全国中央会などの補助等を受け実施しています。毎年、本会では8月中旬を目途に各組合等に翌年度の事業実施の見込みをお聞きし、取りまとめて、京都府等に対し予算の要望を行っています。

今回、令和7年度に助成事業等の活用をお考えの組合等からの希望を受付致します。下記一覧を参考にして頂き、「令和7年度助成事業等アンケート（事業活用希望・相談調査票）」に必要事項をご記入の上、**令和6年8月8日（木）**までに本会宛FAX送信をして頂きますようお願い申し上げます。

下記の記載内容に関わらず、「こんなことに取り組みたい」、「このようなことを考えているが、助成事業を活用できないか」といった内容でも結構ですので、組合等でお考えになっていることについてのお声をお聞かせ頂ければ幸いです。

また、今年度に活用や応募ができる事業もありますので、お気軽にお問合せ下さい。

なお、令和7年度につきまして、事業内容そのものを含め経費負担や助成金額、補助率等について変更や廃止されることがありますので予めご了承願います。

■令和7年度 実施予定事業一覧

A. 中小企業連携組織等支援事業（京都府補助事業）

1. 専門家による助言・指導を受けたい

区分	事業内容	補助率・補助金額等	備考
①個別テーマに絞った課題解決	法律、税務、労働、経営、技術、商標、情報化、マーケティング、デザイン、環境問題等の課題について、スポット的に専門家を派遣しアドバイスを行う。 ※中央会が主催者となり、対象組合との共催により実施します	事業費3万円（うち1万円は組合等負担）	対象：組合等 スポット対応（1回）

2. 組合員の資質向上のための研修会・講習会を開催したい

区分	事業内容	補助率・補助金額等	備考
②研修支援	組合員の資質の向上を図るとともに、組合等の活力と創意工夫を引き出すため、独自で組合等が組合員等を対象に行う研修事業に対して協力・支援する。 ※中央会が主催者となり、対象組合との共催により実施します。	補助対象経費の2/3以内 (補助金額は全体調整により変動あり。)	対象：組合等

3. 組合青年部・女性部に対する支援

区分	事業内容	補助率・補助金額等	備考
③青年部・女性部が実施する研修会・研究会への支援	青年・女性経営者等の資質の向上を図るとともに、組合等の組織活動に青年・女性経営者等の活力と創意工夫を発揮させるための事業の取組みに対して支援する。 ※中央会が主催者となり、対象組合との共催により実施します。	補助対象経費の2/3以内 (補助金額は全体調整により変動あり。)	対象：組合等 (組合等に青年部又は女性部が組織されていること)

B. 京都ブランド・新分野開拓事業（京都府補助事業）

地域ブランドの確立、地元産品活用による新商品の開発、地域活性化等に対する助成

区 分	事 業 内 容	補助率・補助金額等	備 考
④地域ブランド確立、地元産品活用、地域活性化の特産品開発等に対する	京ブランド等に新たな付加価値の付与に関する調査・研究や将来ビジョンの策定、その成果を具体的に事業化・実現化しようとする事業に対して助成する。 〔取組みのイメージ〕 ・地域活性化に向けた将来ビジョンの作成 ・地域ブランド確立のための調査・研究 ・地元産品を活用した特産品の開発 ・特定の地場産業分野における共同受注システム開発のための調査・研究	補助対象経費（税抜）の10分の6以内 （補助金額は全体調整により変動あり。）	対象：組合等

C. 京都市の委託事業

中小企業、小規模事業者等の事業活動等の活性化・高度化等を図るため、中小企業等が連携して取り組む、商品・サービスの開発や販路拡大、経営基盤の確立・強化、生産性の向上及びデジタル化等の取組を支援します。

区 分	事 業 内 容	補助率・補助金額等	備 考
⑤中小企業活性化支援事業	販路拡大等のための展示会等開催・出展、商品・技術等の開発・業務の改善に関する研修会等の実施に対して支援する。 ※中央会が主催者となり、対象組合との共催により実施します。	補助対象経費のうち10万円（研修会等の開催は5万円）を上限とする。	対象：組合等（構成員の半数以上が京都市の区域内に事業所等を有すること。）

D. 全国中央会の補助事業

組合等が、共同事業の活性化や受注拡大等、組合員である中小企業及び小規模事業者の取引力の強化促進を図るために行う事業に対して支援を行います。

区 分	事 業 内 容	補助率・補助金額等	備 考
⑥取引力強化推進事業	小企業者組合等が行う、共同購買や共同宣伝、受注促進のために行う組合ホームページやチラシ等の作成、連携によるブランド構築のための統一ロゴの作成等の事業に必要な経費を助成する。	補助対象経費（税抜）の2/3以内 （上限50万円、下限10万円）	対象：小規模事業者が主たる構成員の組合等

※ 小規模事業者は、常時使用する従業員の数が20人（商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については、5人以下）の会社及び個人を指します。

E. 全国中央会の公募事業

全国中央会が公募する下記の「中小企業組合等活路開拓事業」と「組合等情報ネットワークシステム等開発事業」があり、例年3月頃（令和6年度分は3月1日）に翌事業年度の公募が行われます。

令和7年度につきましては、詳細が決まり次第、本会ホームページ等でご案内します。

区 分	事 業 内 容	補助率・補助金額等	備 考
⑦中小企業組合等活路開拓事業	【活路開拓事業】 専門家を招聘した委員会で検討を行い、市場調査、試作品の開発、ビジョンの策定、成果を発表するなどして、課題を解決、成果を共有する取組みに補助します。 〔取組みのイメージ〕 ・組合員の意識や経営環境の調査 ・他業界・他産地の先進事例の調査・研究 ・共同施設リニューアルの方向性や課題の研究 ・SDGsを学び、業界で実践する方法等の研究	補助対象経費（税抜）の10分の6以内 （上限1,200万円（※大規模・高度型は2,000万円）、下限100万円）	対象：組合等

⑧組合等情報ネットワークシステム等開発事業	【基本計画策定事業】 組合等が情報ネットワークシステム等の構築を目指して実施する、組合事業の業務分析、計画立案、RFP（提案依頼書）策定等の取組みに補助します。 〔取組みのイメージ〕 ・WEBシステムを活用した組合員間ネットワーク構築の基本計画策定 ・災害等のリスク対応のための組合員の在庫・文書等の管理システム整備の研究 ・組合業務管理システムのクラウド化のための業務分析、調査研究	補助対象経費（税抜）の10分の6以内 （上限1,200万円（※大規模・高度型は2,000万円）、下限100万円）	対象：組合等
	【情報システム構築事業】 組合等を基盤とした情報ネットワークシステムの構築や、組合員及び関連する中小企業の業務効率化のためのアプリケーションシステムの開発における、システムの設計、開発、稼働・運用テスト等の取組みに補助します。 〔取組みのイメージ〕 ・組合員の発注業務効率化のためのメーカー・卸間のEDIシステムの開発 ・組合員のローコストオペレーションを可能にする店舗販売管理システムの開発等 ・WEBサイトを活用した組合員の取扱う製品の共同販売システムの構築 ・クラウドを活用した組合員の取扱う製品等の管理システムの構築		

※大規模・高度型は補助金申請予定額が1,200万円を超え、事業終了後3年以内に売上高が10%以上増加することが見込まれるもの、または、コストが10%以上削減されることが見込まれるものに限ります。

F. 上記以外の事業

上記以外にも、行政機関、支援団体等が公募する事業があります。本会では、皆さんからのご相談やニーズを踏まえ、応募・活用に向けた検討・調整やサポート、採択後の事業運営についての支援を行っております。

事業活用希望・相談調査について

本調査の締切は、令和6年8月8日（木）です。調査票を本会で受け付けた後、各担当者よりご連絡させて頂き、記載内容の確認や助成事業の活用の可能性の有無、事業の企画・提案、検討等を行います。

また、調査票記載にあたって、事前のご相談も致しますので、各組合担当者までお気軽にお問合せ下さい。

【事業活用希望・相談調査票送信先】 FAX：075-708-3725（京都府中央会総務情報課宛）

【お問合せ・ご相談】 京都府中小企業団体中央会

本部事務所 TEL：075-708-3701

北部事務所 TEL：0773-76-0759

助成事業や支援制度の最新情報は、本会ホームページやメールマガジンでもご案内しております。メールマガジンは、本会ホームページから配信登録が可能です。組合員のみなさまへの情報提供にご活用頂ける内容ですので、ぜひご登録ください。

京都府中央会ホームページ <https://www.chuokai-kyoto.or.jp>

商店街組合における補助事業（中小企業デジタル化推進事業） を活用して取り組まれたデジタル化推進事例の紹介します

公式サイトリニューアルで
PV(アクセス数)が15倍に
商店街の風景が変わりました

榊形事業協同組合
代表理事 梅垣 昌治
京都市上京区榊形通出町西入二神町170
URL▶<https://masugata.demachi.jp/>
業種▶商店街組合
(小売業、飲食店中心の異業種)



リニューアルした公式サイトトップページ

■デジタル化推進の動機やきっかけ SNS連携や3か国語対応で商店街の魅力を発信

商店街への来訪者数と来店頻度をさらに増やすために公式サイトのリニューアルを計画しました。以前のサイトはスマホに対応しておらず、画像も古く発信力に欠けていることが大きな課題でした。古いサーバーを利用していたことから、セキュリティの問題もありました。そこで、補助事業を活用して公式サイトをリニューアルし、SNSとの連携、動画コンテンツの利用によって、商店街への来客動線を構築しようと考えたのです。専門家（ITコーディネータ）が、SNSとの連動など、技術的な部分についても、説得力のある説明をしていただき、理解した上で事業を進めることができました。当商店街の周辺には魅力的なスポットがたくさんあります。新しいサイトでは、それらの観光地を訪れた方が、榊形商店街にも行ってみたいと感じ、行動していただけるような内容を目指しました。インバウンド需要に向け、英語・中国語・台湾語の3か国語対応としました。完成した新しい公式サイトは、訴求力のあるデザインで、商店街の特徴、マップ、各店舗の詳細情報が盛り込まれ、SNSとも連携できるようになりました。

■実施の効果

PVがいきなり15倍以上に 恒例イベントの集客にも反映

以前のサイトの閲覧回数は月に1,000ビュー程度でした。リニューアルによって10,000、ゆくゆくは15,000ビューを目指せばよいと考えていたところ、リニューアル後の1か月でいきなり15,000を超える閲覧があり、効果の大きさに驚きました。ご覧くださる年齢層も、以前は高齢の方が多かったのですが、今は20代、30代の方が突出して多くなりました。サイトの閲覧数が実際の集客につながっていることを強く実感したのが、恒例のイベント「七夕夜店」です。例年を大きく上回る数のお客様が来てくださり、大きな盛り上がりを見せました。日常の様子を見ていても、以前は日用品のお買い物のお客様が多い印象でしたが、リニューアル以降は、カップルで来てくださる方、京都への小旅行の途中に一足伸ばしてきてくださる方が目立つようになったと感じます。写真を撮る方も増えました。特徴ある店構えのお店が多く、店の人も通りに出ていることが多いので「撮ってもいいですか？」と声をかけて撮影され、その後「このお店はどこにありますか？」といった会話が始まるなど、お客様とのコミュニケーションも多くなりました。サイトの更新には人手が必要ですが、組合員の店舗でアルバイトをしている学生さんが協力してくれるようになり、今後は組合員の制作した動画を公開する予定もあります。サイトのリニューアルを機に、こうした新しい連携も生まれつつあります。

■今後の展望

実績を作ることで周辺施設を整備 さらによい商店街にしていきたい

当組合がITも活用してお客様の数や来店頻度を増やしたいと考えるのは、商店街の活性化はもちろん、実績をすることによって力をつけ、行政も巻き込んで周辺施設の整備を進め、さらに良い商店街にしていきたいという思いがあるからです。例えば、近隣に使いやすい駐輪場ができれば、商店街の中の駐輪も減り、より歩きやすくなるでしょう。そのためにもより多くの方にお越しいただきたい。マスメディアを使ったPR、SNSを利用した発信にもいっそう力を入れていきたいですし、インバウンド対応のための英会話教室の開催、キャッシュレス決済への対応促進にも取り組んでいます。これからもあらゆる方法で集客に努めたいと思います。

※本記事は、昨年度作成した中小企業デジタル化推進事業成果事例集より引用しています。

京都伝統工芸協議会「2024年 若手従事者研修・交流会」を開催

去る令和6年4月22日（月）、京都伝統工芸協議会は伝統産業の若手従事者が抱えている共通課題の解決や、柔軟な思考力や新しい事業を生み出す機会を創ることを目的に京都経済センターにて「2024年 若手従事者研修・交流会」を開催、約40名が参加した。

研修会では、京都府が実施している「一人称工芸」事業の統括ディレクターの綾利洋氏（オーラボ株式会社代表取締役）と参画事業者の方々をお招きし、「超個人的な視点からニーズを発見し新たなビジネスを ～『一人称工芸』から得られたものと今後の可能性～」をテーマに講演いただいた。綾氏から「一人称工芸」の内容や趣旨、これまでの成果や課題について講演いただいたのち、実際に取り組みされた担い手の方々から試行錯誤の中で得られた成果をお話いただき、参加者との意見交換を行った。

その後の交流会では、スタンディング形式で自由に交流いただき、和やかな雰囲気の中、参加者同士で懇談され、若手伝統工芸従事者や関係者同士で情報交換を行う等、交流を深めることができた。



綾利洋氏と参画事業者の方々



研修会の様子

人材確保・再就職・出向をサポート

約500人のコンサルタントが全国対応。利用料・紹介料無料

産業雇用安定センターとは
人材を送り出す企業と人材を受け入れる企業との間で様々な
人材マッチングを支援している公的機関です。

約25万人の
実績

サービスのラインナップ

1 人材確保・再就職の 人材マッチング

専門性の高い人材を雇いたい、
人材を確保したい

マッチング

事業の整理・縮小を
検討している

2 キャリア人材バンク

能力・技術を有する
高齢者の雇用を検討

マッチング

66歳以降もまだまだ
働きたい

3 人材育成・企業間交流の ための出向支援

新規分野開拓のために
経験者を受け入れたい

マッチング

他企業での就業経験により
従業員の能力・技術向上を
図りたい

4 セミナー事業(有料)

- 新入社員研修・フォローアップ研修
- リーダーシップスキルアップセミナー
- マネジメントスキルアップセミナー
- ハラスメントセミナー など



公益財団法人 産業雇用安定センター 京都事務所

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町623 第11長谷ビル9階

TEL 075-211-2331 FAX 075-253-3066

産業雇用

検索



■原材料の高騰や不十分な価格転嫁が下押し要因に

業界景況天気図		概況
全体	3月 → 4月 ☔ ☔	GWやインバウンド需要の増加により、前年よりも京都府全体の景況感は改善したが、急速な円安の進行やコスト負担の高まりが経済循環を悪化させ、十分な価格転嫁ができていない企業が多くみられる。また、多くの業界が「人手不足の深刻化」を喫緊の課題として挙げ、事業を運営するうえで必要な人材を確保できないことが要因で、閉店するケースも増えている。
製造業	繊維工業 ☔ ☔	4月の白生地生産数量は前年対比90.7%の減産となった。原料高による製品価格の上昇により、当用買の動きに変化はない模様である。高齢化、廃業による生産能力の減退もあり、コロナ過で縮小した産地からの脱却を見通すことが難しい。一刻も早い市況回復が待たれるところではあるが、物価高騰の流れは当面続くと思われるなかで、生活必需品ではない「ぎもの」の需要回復は厳しい見通しである。
	出版・印刷 ☔ ☔	人を募っても集まらないという声があり、新卒の採用人数もここ数年ずっと減少傾向にある。価格転嫁は進んでいるが、資機材の値上がりと同様までは難しい。最低賃金対応も進んでいるが、経営への負担は免れないという声もある。
	鉄鋼・金属 ☔ ☔	全体的に上昇好転した項目は無く、売上高、収益状況、業界の景況は、不変・悪化傾向にある。自動車関連は客先からの納期変更が多く、リードタイムが長期化している傾向である。また、中国の景気減退もあるのか、かからず受注が冷えているとの意見があった。
	一般機械等 ☔ ☔	昨年9月頃から下がり続けている景況感は回復する兆しが全く無い。要因は様々であるが、大企業からの受注の流れが価格競争に巻き込まれ、安価な請負にて受注される所に仕事は流れているのではないかと想像できる。半導体業界も在庫が多い状況のようで、生産ストップがかかっている企業もある。値上ラッシュで固定費が上がり、利益率が下がるのは必然的であり企業にとっては苦しい経営状況である。
	その他製造業 ☔ ☔	コロナの影響もほぼ無くなり、人の流れが回復しているが、大幅な円安の為、木材価格が高止まりしている。ウッドショックによる価格高騰後、落ち着きを見せたところに円安が進み、5年前と比較してほぼ倍の価格の木材もある。京都市内はホテルやマンションの需要に追い付かず、建築ラッシュが続いているが、大手ゼネコンや地元以外の業者によるものも多くみられ、他府県から材料職人も呼び寄せられている。
非製造業	卸売 ☔ ☔	円安による物価高の影響が長く続き、インバウンドの好況とは対照的な状態が続いている。流通・販売の停滞がモノづくりの厳しい状況に拍車をかけており、技術保全の仕組みづくりを早期に実現する事が喫緊の課題である。
	小売 ☔ ☔	4月度の販売状況は家電全体では若干持ち直しきているが、旅行・外食等のサービス消費へシフトしたことや、物価高騰により消費者の節約志向が強まったことが影響し、販売台数では依然厳しい状況である。しかし、製品単価の上昇で販売金額は上がった。電子機器関連では依然としてテレビ、BDとも販売は厳しい状況だが、白物家電はエアコンを中心に販売が上向ってきている。
	商店街 ☔ ☔	4月は気候も良くなり、商店街の来街者も地元消費者、日本人観光客、外国人観光客が増えてきた。しかし、どの来街者も購買意欲は低く、日本人来街者は円安と材料費の高騰による物価高で買い物を控え、外国人観光客の趣向は体験型に向かうよう、飲食関係の店にも殺到している様子である。円安でかなり安く物が購入出来ると思われるが、何でも購入する事はなく趣味の物には高額でも購入されている。
	サービス ☔ ☔	自動車整備業界における中小の車の著しい進化に取り残されないように日々努力するとともに、人材不足の対応も急務である。人材不足の対応として、外国人労働力が重要となっており、それに伴い外国人技能実習生を増加させている。また、商用車の供給は通常通りであるが、タイヤ協力店では未だに新車の納入遅れがある。
	建設 ☔ ☔	能登半島地震を受けて京都市は、木造住宅・京町家の地震対策として、耐震改修の補助金を大幅に拡充した。耐震診断の相談は過去を上回るペースで申請があるとのことだが、今後どの程度耐震改修につながるのか注目したい。なお、地価公示価格は都市中心部で上昇しているため、マンションなどの供給価格も高騰しつつある。定住を促し人口の流出を防ぐためには、良質な改修物件も必要になると思われる。
	運輸 ☔ ☔	4月にライドシェアがスタートし、運用は各社毎に委ねられている。1時間に1回程度の乗車であるが、収益としては全く成立しない状態であり、本格的な制度導入には大いなる疑念を抱かざるを得ない。片や、京都市域における乗務員数は、インバウンド効果もあり、上昇傾向にある。タクシー事業者としては、乗務員を多く採用して遊休車両を1台でも多く稼働させることが最優先である。

☔ 快晴 DI値 40以上	☔ 晴れ 20~40未満	☔ 曇り 20未満~△20未満	☔ 小雨 △20~△40未満	☔ 雨 △40以上
---------------	--------------	-----------------	----------------	-----------

※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

アイシーエル 人材育成研修

貸し研修室、
人材派遣も
承ります

マナー研修 管理職研修 パソコン研修

組合様主催の研修企画など
お気軽にお問い合わせください♪

中央会特別会員

ICL

☎075-708-7253

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail training@icl-web.co.jp

詳細・お申し込みは Web サイトへ

アイシーエル 検索

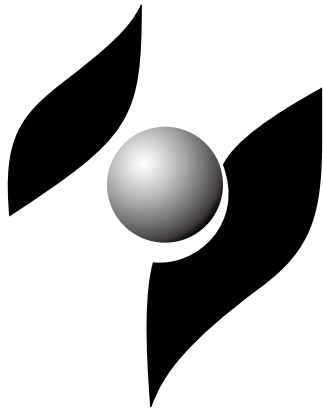
株式会社アイシーエル

〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680-1 第八長谷ビル 10F

営業時間 9時~18時 (土・日・祝日は休業)

新型定期預金

マイハーベスト



人を思う。未来を思う。

商工中金

有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

◆◆◆◆ 新加入会員紹介 (令和6年5月加入) ◆◆◆◆

※掲載につきましては、掲載のご承諾を頂いた会員及びその内容を掲載しております。

一般会員

会員名 京都市中大断面木材生産協同組合
所在地 京都市中京区西ノ京南聖町13番地 辻井木材株式会社内
代表者 代表理事 辻井 大
主な事業 共同受注事業、情報提供事業、指導・教育事業

事業主のみなさんへ

令和6年度労働保険年度更新について

令和6年度労働保険料（労災保険・雇用保険）の申告納付期間は、**令和6年6月3日～令和6年7月10日**（土日祝は除く）です。

今年も労働保険料の申告納付の時期がまいりました。

『労働保険概算・確定保険料・石綿健康被害救済法一般拠出金申告書』により、7月10日までに申告納付をお済ませください。

また、いつでもどこでも便利な電子申請による申請（<http://www.e-gov.go.jp>）や口座振替による納付もご利用（*1）が可能となっておりますので、是非ご利用ください。

（*1）令和6年度1期保険料の口座振替申し込みは、既に終了しています。令和6年度2期保険料からのご利用となります（2期の申込締切日は8月14日です）。

	①	②		①+②	
	労働者負担 (失業等給付・育児休業給付の保険料率のみ)	事業主負担	失業等給付・雇用保険二事業の保険料率		雇用保険料率
一般の事業	6.0/1000	9.5/1000	6.0/1000	3.5/1000	15.5/1000
農林水産*・ 清酒製造の事業	7.0/1000	10.5/1000	7.0/1000	3.5/1000	17.5/1000
建設の事業	7.0/1000	11.5/1000	7.0/1000	4.5/1000	18.5/1000

*園芸サービス、牛馬の育成、酪農、養鶏、養豚、内水面養殖および特定の船員を雇用する事業については、一般の事業の保険率が適用されます。

◎労働保険料率については一部の業種に改定があります。詳しくはホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/index.html>）をご覧ください。

【お問い合わせ先】
京都労働局総務部労働保険徴収課
〒604-0846 京都市中京区両替町通御池上ル金吹町451
TEL 075-241-3213

なが——い、おつきあい。

事業資金ニーズに応える豊富なメニュー

ビジネスパートナーをご紹介します

資金調達

ビジネスマッチング

企業の資本政策・成長戦略をサポート

海外でのビジネスをサポート

事業承継・M&A

貿易・海外取引



京都銀行はさまざまな
シーンで皆様を応援します！

◀詳しくはこちらをご覧ください

飾らない銀行

京都銀行

月刊中小企業連携組織活性化情報 **協同**

6/2024 令和6年6月10日発行 通巻930号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階

☎ 075-708-3701 FAX 075-708-3725

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「宇治茶色」です。